

ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる 心を洗い、心を磨く生き方 (鍵山秀三郎)

何事をはじめにも、大切なことは、一步を踏み出す勇氣。まずこの一步を踏み出さなければ、前に進むことはできません。どんなに優れた考えでも、実行されなければ、栄光の女神も微笑んでくれません。スタートしなければ、ゴールもないのです。よいと思ったことはすぐ行動する。悪いと思ったことはすぐやめる。即行即止。この実行力が人生を左右します。

具体的には足元のゴミを拾う実践から始めることです。

ゴミを目にしたら、腰をかがめてサッと拾う。この実践を続けているだけで、気づきに対する直感力が研ぎ澄まされてきます。同時に、突発的な問題に対する判断力が高まってきます。

ゴミを拾っていて感じることは、ゴミを捨てる人は捨てる一方。まず、拾うことはしないということです。反対に、拾う人は無神経に捨てることもしません。この差は年月がたてばたつほど大きな差となって表れてきます。人生はすべてこうしたことの積み重ねですから、ゴミひとつといえども小さなことではありません。

いつも「志は高く、実践は足元から」。

この姿勢こそが大切な心構えです。

第一、足元のゴミひとつ拾えぬほどの人間に何ができましょうか。

鍵山秀三郎 (かぎやま ひでさぶろう) さんの一節です。鍵山さんはイエローハットの創業者であり、イエローハットのトイレはいつもきれいでぴかぴかだそうです。また一度見に行ってみて下さい。創業以来続けている「掃除」に多くの人が共鳴し、掃除運動が内外に広がり、「日本を美しくする会」の相談役を務めておられます。その会が全国、世界に広がり岡山でも「岡山掃除に学ぶ会」が開催されています。私も数年前参加させていただきましたが素足、素手でトイレをぴかぴかにしてみても新たな気づきを感じました。また、みなさんも参加してみてください。

次回 「岡山掃除に学ぶ会」 開催 4月17日 (日) 8時~12時30分

182回定例会 岡山中学校・みしま寮 (男子寮)

申し込み先 080-5625-0143

toshi524@lime.ocn.ne.jp 小西 敏之さんまで

